

総合科学教育研究センター

ニュースレター

【紹介】英語学習に利用できる医療系サイトの紹介

医学部および看護学部の英語の授業では、いくつかのインターネット・サイトを教材に利用したり、学生の自学自習教材として紹介したりしています。これらの中には学生だけでなく、医師や看護師などの医療提供者にとっても英語学習に利用可能なものが多く、今回はその1つである MedlinePlus について紹介します。

MedlinePlus (<https://www.nlm.nih.gov/medlineplus/>) は患者と家族向けに作られたウェブサイトで、アメリカ国立衛生研究所 (the National Institutes of Health (NIH))、アメリカ国立医学図書館 (the National Library of Medicine) などが情報を提供しています。内容は主に (1) 病気や症状の解説、(2) 処方薬やサプリメントの解説、(3) ビデオによる生体機能や手術の解説などです。患者と家族向けということもあり、比較的平易な英語が使われているので、英語学習に最適です。また、約 70 ページの医学用語学習スライド (Understanding Medical Words) や医療情報を見極めるための学習スライド (Evaluating Health Information) など用意されており (いずれ

も音声付き)、自学自習にも対応しています。このサイトで医療情報を学び、英語の語彙と表現力を身につけることによって、その他のより専門的なサイトについても理解を深めることができるようになると思われます。



(人文社会科学系領域・中山 仁) ■

【報告】総合科学教育研究センター紀要に掲載された論文のアクセス状況

総合科学教育研究センター発行の紀要は、2012年に発行してから3年が経ちました。そこで、学内のリポジトリに登録されている論文のダウンロード回数、および閲覧回数を調査しました。

なお、閲覧とダウンロード回数は、2012年11月から2015年8月末までのデータです。

今後も皆様にもっとアクセスして頂けますよう、努めたいと思います。

2012年紀要 (論文2報の合計)
閲覧：1574回、ダウンロード：669回
2013年紀要 (論文1報)
閲覧：459回、ダウンロード：215回
2014年紀要 (論文2報の合計)
閲覧：596回、ダウンロード：383回

(自然科学領域・谷口 暢一) ■

[学術学会等行事カレンダー]

月	日	学会・討論会
11	16-18	第52回ペプチド討論会(平塚)
	19-21	第45回複素環討論会(東京)
	21-22	第33回日本英語学会大会(関西外国語大学)
	27	第44回生薬分析シンポジウム(薬業年金会館)
	28-29	第151回日本言語学会(名古屋大学)
12	1-4	第38回日本分子生物学会(神戸) 第88回日本生化学会大会(神戸)
	2-4	第42回炭素材料科学年会(関西大学)
	3-5	第42回有機典型元素化学討論会(名古屋大学)
1	21-22	第8回武田科学振興財団薬学シンポジウム(武田薬品工業研修所)

月	日	学会・討論会
2	28	2015年度実務支援セミナー(京都薬科大学)
3	14-16	日本天文学会2016春季年会(首都東京大学)
	24-27	日本化学会第95春季年会(京田辺)
	26-29	日本薬学会第136年会(横浜)
	27-30	日本農芸化学会2016年大会(札幌)
4		
5	14-15	第75回日本哲学会大会(京都大学)
	28-29	第76回分析化学討論会(岐阜薬科大学)

[コラム] 教養としての周期律表：フッ素 (F)

今回は、フッ素について紹介します。

フッ素は、地球上に存在する元素の中で最も高い電気陰性度を示します。

これは、電子を引く力が強いことを意味しています。

この性質を利用して、数多くの化合物が合成されています。よく知られた化合物は、テフロンです。これは、フッ素樹脂なのですが、分子内に炭素-フッ素結合を有しており、この基は、極めて反応性に乏しいため、分子自体を安定に保つことができます。

また、医薬品としても、多くのフッ素を含む製品が販売されています。例えば、糖尿病治療薬のシタグリブチンや、肺癌治療薬のイレッサがあります。

さらに近年では、新規医薬品の候補として、フッ素修飾型の生理活性物質が数多く作られています。これは、ここ

十数年の間に、フッ素化剤の開発や、クロスカップリング反応等の有機合成の技術が発展したことにより、有機化合物上にフッ素原子を導入しやすくなったことが理由です。

これ以外にも歯磨き粉にもフッ素化合物がはいっていますが、良いことばかりでもなく、負の側面も言われています。よく水道水にフッ素を添加すると虫歯予防になると言われており、海外では実践されているところもありますが、過剰摂取や長期摂取で、フッ素症(歯のエナメル質が侵されたり、骨に異常)があることが知られています。

また近年では、テフロン等の使用もフッ素による中毒を引き起こされるのではないかと疑いが持ち上がっており、今後の調査結果が待たれます。

(自然科学領域・谷口 暢一) ■